

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成23年度第1回 第1分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成23年10月4日（火） 午後1時30分～午後3時50分
場所	江南市市民体育会館 2階 第1会議室
出席者	市民委員 馬場 紀久世、古田 清一、宮川 秀男、望月 晴夫、岩井 喜美子、細川 幸子、
	市職員 永井 嘉信、小塚 昌宏、大藪 勝寛、伊藤 幸実、伊藤 吉弘、大森 幹根
議題	1. 今年度のまちづくり会議について 2. 江南市戦略計画達成状況報告書 及び まちづくり評価シートの達成率の計算方法について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 各分野のまちづくり評価シート及び目標達成状況について 5. 平成23年度第2回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について
資料	資料1 江南市戦略計画達成状況報告書について 資料2 達成率の計算方法について 資料3 まちづくり評価シート 資料4 各分野の目標達成状況 資料5 まちづくり会議のスケジュール

◆ 会議結果 ◆

1. 今年度のまちづくり会議について

- ・経営企画部長より、今年度の会議では、昨年度検討いただいた「まちづくり評価」に平成22年度の達成状況を踏まえた前期計画期間の進行管理の結果をとりまとめて、「戦略計画達成状況報告書」を作成し、広く市民へ公表していくことなどの説明がありました。

2. 江南市戦略計画達成状況報告書 及び まちづくり評価シートの達成率の計算方法について

- ・行政経営課行政マネジメントグループリーダーより、資料1に基づき、今回作成する報告書についての説明がありました。また、資料2については、達成率の計算方法を、目標値と実績値の割合で計算するよう、変更したことの説明がありました。

3. 委員及び市職員の紹介

- ・事務局より、変更があった委員として、市職員の小塚委員、伊藤（幸）委員、伊藤（吉）委員 3名の紹介がありました。

4. 各分野のまちづくり評価シート及び目標達成状況について

〔柱1〕安心・安全な地域づくり

- ・資料3・4に基づき、委員（生活産業部参事）より説明がありました。

〔個別目標①〕災害への備えが行われている

- ・校下別の自主防災会訓練において市役所のお膳立てがなくても、自分たちで計画して訓練できるように少しずつ持って行ってほしいとの意見がありました。
- ・本年の藤里小学校での藤ヶ丘区の訓練では、3月11日大震災の教訓をもとに自主防災会独自に計画し、団地の玄関が歪んで出られないという想定でバルコニーの非常脱出用の仕切りを蹴破る訓練を行っている例もあるとの説明がありました。

- ・地元の区長さんが防災会長も兼ねているところが多く、1年交替で変わってしまうのも1つの原因であるとの意見がありました。
- ・地区によっては継続して自主防災リーダーが取り組んでいるところもあるとの説明がありました。
- ・訓練がマンネリ化しているとも言われているが、繰り返し実施することも大切であるとの意見がありました。
- ・防災訓練でのテント設営を例にしても、市にやってもらうのではなく、自主防災会が主体で自分たちがやるという意識がまず重要であるとの意見がありました。
- ・3月11日の大震災以降、災害への新たな計画について、どのように考えているかとの質問があり、現在同報系防災行政無線を市内65箇所に設置しているが、今後、これをどう活用していくかが課題である。また、戸別受信機（防災ラジオ）やあんしん・安全ネットメールなどいろんな媒体での情報伝達を構築していくことが必要であるとの説明がありました。
- ・震災後、市民の声はどう変化したかとの質問があり、津波や土砂災害の恐れはないが、原発事故による放射能被害や先日の豪雨により内水害に対する危機感が高まっているとの説明がありました。
- ・防災意識が高まっている中、江南市は大丈夫というのではなく、地域の協力体制を整え、市役所と市民が何をすべきか、役割分担をしっかりと決めていくべきであるとの意見がありました。
- ・地域のコミュニティに参加していない人も、まずは休日などの地域や市主催の行事に参加してほしいとの意見がありました。

〔個別目標②〕地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている、〔個別目標③〕交通事故が減っている

- ・女性交通安全クラブ員が交通安全キャンペーン、登下校時は交通安全指導員や近所のボランティアの方が児童を見守り、夜は区長さんを中心に防犯パトロール隊活動を行うなど、地域で様々な取り組みが行われており、評価できるとの意見がありました。
- ・柱1の内容については、原案のとおり了承されました。

〔柱2〕消防・救急体制の充実

- ・資料3・4に基づき、委員（総務予防課長・消防署長）より説明がありました。

〔個別目標②〕防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

- ・住宅用火災警報器が取り付けられない高齢者等に対して、市から取り付けに行くサービスが好評であるとの意見がありました。

〔個別目標③〕救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

- ・救急車の到着時間は目標を達成しているが、利用状況は適正かの質問があり、実際には、軽症の方の利用が半数くらいあるとの説明がありました。
- ・一人暮らしの高齢者など家族形態の変化も、その一因ではないかとの意見がありました。
- ・高齢者の転倒事故等は日頃から気をつけるようにPRしていくことも重要であるとの意見がありました。
- ・婦人科の病院に頻繁に救急車が来ることがあるが、どうしてかとの質問があり、全体の割合からすると特別多いということはないが、異常分娩で処置できず厚生病院へ搬送されることがあり、これは適正利用と考えているとの説明がありました。
- ・救急車で搬送されると、病院に着いてから早く対応してもらえると考える人が多いのも一因ではないかとの意見がありました。
- ・応急手当講座を地元で毎年受けているが、分かりやすく指導をしてもらえるので非常にありがたいとの意見がありました。
- ・火災現場到着所要時間、薬剤投与救急救命士運用数の各指標について、資料3の平成22年度実績値が戦略計画改訂基本計画と異なっていることに対して質問があり、次回の会議までに調べて報告するとの説明

がありました。

- ・柱2の内容については、(上記の次回確認事項を除く)原案のとおり了承されました。

5. 平成23年度第2回以降のまちづくり会議(分野別会議)日程について

- ・第2回、第3回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第2回> 10月12日(水)午後1時30分～

<第3回> 10月18日(火)午後1時30分～